

「1学期終業式・全校集会にて」



終業式の各学年の生徒代表発表者は1年(岩元駿太さん)、2年(宮元碧志さん)、3年(服部華衣良さん)、生徒会(川越康史郎さん)でした。どの発表も、1学期の反省がしっかりとなされ、それを踏まえて2学期はどんなことをどんな風に取り組んで行くのかが分かる素晴らしい内容でした。その後の全校集会では、「歯の優良賞」の表彰が行われ、3年の橘寛文さんが代表で表彰状を受け取りました。

「交流の日」(交流給食の代替行事)

保体委員会が話し合い、昼休みに全校生徒で「かくれんぼ」をしようということになりました。7月27日(月)に実施しましたが、とても楽しかったようです。少人数ならではの、という学習面ばかりが強調されがちですが、こんなところにも少人数の良さがちりばめられています。



「生徒を鍛える・生徒を信じる」

本来ならば夏休みの期間でしたが、生徒たちは8月7日まで授業でした。そこで、本校では「この期間は暑いので、体操服登校でもいいのではないか」「飲み物は、お茶や水だけでいいのだろうか」と真剣に職員同士で話し合いました。いろいろな意見が出て、どれも正しいものばかりでした。それで、学校の判断は、生徒を鍛えるため「登校は帯帽」、スポーツ飲料をそのまま飲むと糖分過剰摂取になることを知らせながら、生徒を信じて、「飲み物は、お茶・水・スポーツ飲料を薄めたもの」としました。自分の体の管理を自分でしっかりとする生徒になって欲しいと思います。

本校の先生の紹介をします パート3



進路指導の大ベテランです。教科は英語で、ICTを駆使して授業をされます。雑草の無い花壇とフュージョンという音楽ジャンルをこよなく愛す心優しい先生です。

3年副担 宮下先生

学校で使う様々な物品の購入から整理まで、一手に引き受けて私たちに助けてくれます。中学生の母親のでもあり、保護者としての目線や立場で相談に乗って頂いています。

事務室 近藤先生

教科は理科ですが、理科だけにとどまらず、とても物知りです。また、鞆箱に生徒が元気が出るような掲示をしてくれます。さらに、陸上競技の担当で、マンツーマンで生徒に付き合っていました。

2年副担 中村先生

「生きているということは 誰かに借りをつくること 生きてゆくということは その借りを返してゆくこと」

永六輔さんの言葉です。コロナ禍の今、生活をしていくうえで自分が知らない様々な人のお世話になっていることを再認識しています。先日、人間ドックに行った病院での医師や看護師さんの姿を見てさらにそう思いました。借りを自分なりの方法でどうやって返していくか…やり甲斐がありそうです。